



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場会社名 北日本紡績株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3409 URL http://www.ktbo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)仲治 文雄
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)西川 康一 (TEL) 076(277)7530
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	226	3.0	4	—	2	—	3	—
27年3月期第2四半期	220	6.6	△3	—	△3	—	△3	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △20百万円(—%) 27年3月期第2四半期 0百万円(△93.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	0.30	—
27年3月期第2四半期	△0.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,282	442	34.5
27年3月期	1,335	462	34.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 442百万円 27年3月期 462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	460	4.6	20	—	15	—	15	—	1.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	12,911,000株	27年3月期	12,911,000株
28年3月期2Q	558,900株	27年3月期	558,243株
28年3月期2Q	12,352,429株	27年3月期2Q	12,353,476株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減速感が強まる中、輸出が伸び悩む状況になり、個人消費も少し減少気味になっております。そうした状況下で在庫調整の遅れにより生産が低迷するなど、消費税増税後の景気落ち込み感からの持ち直しにブレーキが掛かっている状況になっております。その一方で、大手企業を中心に業績良好な中、所得雇用環境の改善が続いており、基本的な景気回復路線は継続されております。

繊維景況は、衣料用途については天候要因の影響を大きく受け、夏物衣料から秋冬物への移行がスムーズに進み、百貨店・チェーン店など概ね業績は好調に推移しておりますが、商品の産地は輸入品が多く、国内製造産地は苦戦が続いております。資材用途では好調を維持していた輸出向け自動車用途などが、中国経済の影響とフォルクスワーゲン社のリコール問題もあり、減速傾向になっております。

当社の産業資材分野では、主力商品でありますアラミド繊維（高機能難燃繊維）・高強度繊維ともに受注自体は土木関連資材及び自動車関連資材など比較的堅調に推移しており、取引先も新規に1社増えております。アラミド繊維全体の売上高は116,283千円と前年同四半期に比べ2,332千円減少したものの堅調に推移しております。また、一般衣料紡績糸は高機能インナー用途向けが生産時期の調整を行った為、減少しましたがユニフォーム向け原着糸の受注が増加し、新規販売先も増えたことにより減少分を補うことができ、売上高は前年同四半期に比べ8,859千円増加し、110,675千円となりました。

このような状況の中、当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、売上高は前年同四半期に比べ6,526千円増加し、226,959千円となりました。営業利益は4,180千円（前年同四半期は3,284千円の営業損失）、経常利益は2,891千円（前年同四半期は3,881千円の経常損失）となり、親会社に帰属する四半期純利益は3,760千円（前年同四半期は3,358千円の親会社に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ52,607千円(3.9%)減少し、1,282,785千円となりました。この減少の主な要因は、紡績機械の設備投資により有形固定資産は7,701千円増加しましたが、流動資産の現金及び預金が22,704千円、保有株式の時価が下落したことにより投資その他資産の投資有価証券が35,650千円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ32,077千円(3.7%)減少し、840,535千円となりました。この減少の主な要因は、流動負債の短期借入金6,000千円、その他に含まれている未払消費税等10,596千円、未払金が4,471千円、それぞれ減少したこと及び保有株式の時価が下落したこと等により固定負債の繰延税金負債が12,703千円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ20,530千円(4.4%)減少し、442,249千円となりました。この減少の主な要因は、親会社に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金は3,760千円増加しましたが、保有株式の時価が下落したことにより、その他有価証券評価差額金が24,242千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想については、当第2四半期連結累計期間における業績の状況及び下半期の市場動向等を勘案し、当期の連結業績予想の見直しを行った結果、平成27年5月14日に公表した平成28年3月期通期の連結業績予想を修正しております。

詳細は、本日公表の「業績予想の差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで継続的に営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、製造コスト・販売費及び一般管理費のさらなる削減及び生産工程の効率化に取り組みながら、受注量の確保を喫緊の課題として取り組んでおります。具体的には、現存の基幹商品であります高機能糸(産業資材・インナー)の生産を確保しつつ、取引先との技術提携をより強固にしながら、さらに高機能繊維の高付加価値化を図り、既存の防護衣料分野での用途拡大に加え、新規用途開発に取り組みます。また、既存のポリエステル関係糸の高付加価値商品の開発を進め、新規取引先の開拓に取り組みます。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,814	57,110
受取手形及び売掛金	51,765	42,558
製品	2,713	7,504
仕掛品	6,568	8,639
原材料及び貯蔵品	3,052	2,243
その他	8,411	9,636
流動資産合計	152,325	127,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	0	656
機械装置及び運搬具(純額)	0	6,260
土地	805,484	805,484
リース資産(純額)	0	0
その他(純額)	0	784
有形固定資産合計	805,484	813,186
無形固定資産		
リース資産	0	0
ソフトウェア	0	0
施設利用権	50	50
無形固定資産合計	50	50
投資その他の資産		
投資有価証券	366,714	331,063
その他	10,818	10,791
投資その他の資産合計	377,532	341,854
固定資産合計	1,183,067	1,155,091
資産合計	1,335,393	1,282,785

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,354	20,462
短期借入金	511,000	505,000
リース債務	1,659	1,659
未払法人税等	1,283	1,835
賞与引当金	5,624	6,557
その他	50,923	35,210
流動負債合計	588,845	570,726
固定負債		
リース債務	6,144	5,314
繰延税金負債	58,510	45,807
再評価に係る繰延税金負債	212,801	212,801
退職給付に係る負債	6,310	5,885
固定負債合計	283,767	269,809
負債合計	872,612	840,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,000	714,000
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	△685,980	△682,220
自己株式	△57,419	△57,468
株主資本合計	△28,143	△24,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,586	33,344
土地再評価差額金	433,336	433,336
その他の包括利益累計額合計	490,923	466,680
純資産合計	462,780	442,249
負債純資産合計	1,335,393	1,282,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	220,432	226,959
売上原価	176,118	171,084
売上総利益	44,314	55,874
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	3,527	3,703
役員報酬	5,385	7,300
給料及び手当	15,815	16,329
賞与引当金繰入額	1,298	861
その他	21,571	23,499
販売費及び一般管理費合計	47,598	51,694
営業利益又は営業損失(△)	△3,284	4,180
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	4,488	3,874
不動産賃貸料	3,122	3,025
その他	887	1,739
営業外収益合計	8,509	8,651
営業外費用		
支払利息	8,020	7,898
支払補償費	159	455
その他	926	1,586
営業外費用合計	9,106	9,941
経常利益又は経常損失(△)	△3,881	2,891
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△3,881	2,891
法人税、住民税及び事業税	893	425
法人税等調整額	△1,416	△1,294
法人税等合計	△523	△869
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,358	3,760
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,358	3,760

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,358	3,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,079	△24,242
その他の包括利益合計	4,079	△24,242
四半期包括利益	720	△20,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	720	△20,481
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度まで継続的に営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、製造コスト・販売費及び一般管理費のさらなる削減及び生産工程の効率化に取り組みながら、受注量の確保を喫緊の課題として取り組んでおります。具体的には、現存の基幹商品であります高機能糸（産業資材・インナー）の生産を確保しつつ、取引先との技術提携をより強固にしながら、さらに高機能繊維の高付加価値化を図り、既存の防護衣料分野での用途拡大に加え、新規用途開発に取り組めます。また、既存のポリエステル関係糸の高付加価値商品の開発を進め、新規取引先の開拓に取り組めます。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

当社グループの事業は、紡績糸の生産・販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当社グループの事業は、紡績糸の生産・販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。